

福島民友

THE FUKUSHIMA MINYU



「香り・味わい」
ともに進化

特醸酒

www.eisen.jp

広まる職場で運動

「タクシー乗務員の健康状態は、安全な運転に深くかかわる。運転中に心筋梗塞や脳梗塞を発症して意識を失ったら大変だ。大和自動車交通(福島市)の取締役渡辺宣之さん(74)は、従業員の健康管理に力を入れる理由をそう語る。

2016(平成28)年、従業員の健康のため積極的に取り組むことをうたった「健康事業所宣言」を行った。乗務員にまめな運動のほか、定期的な禁酒や、禁煙を促すことを始めた。

健康長寿

福島の挑戦

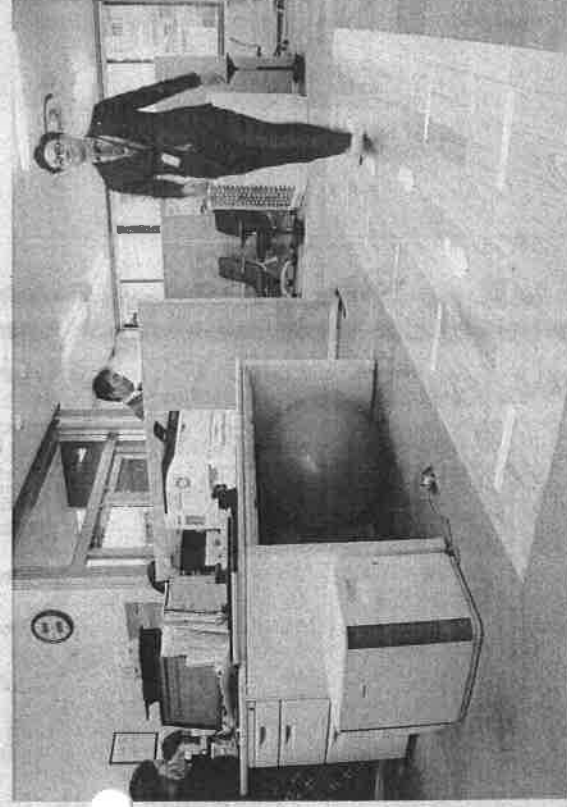
第4部 運動不足②

業界全体で乗務員の高齢化が進んでいることも、健康管理に重点を置く理由の一つだ。大和は15年、定年退職の年齢を5歳延長して65歳にした。定年後に雇用延長で働く人も多く、70歳のドライバーもいる。「60歳を超えると、健康管理をしている人こそでない

「体のキレ戻ってきた」タクシー乗務員は仕事柄、長時間座ったままで体を動かす時間が少なく、腰痛は職業病だ。乗務員の男性(62)は会社の勧めで最近、待機中に背中をぞらしたり、首を回すなどのストレッチを始めた。運動不足がずっと気になっていたが、今は休日に自転車で10きほど走っている。男性は「体のキレが戻ってきた」と笑顔をみせる。

業界全体で乗務員の高齢化が進んでいることも、健康管理に重点を置く理由の一つだ。大和は15年、定年退職の年齢を5歳延長して65歳にした。定年後に雇用延長で働く人も多く、70歳のドライバーもいる。「60歳を超えると、健康管理を

高齢で働く時代 備え



フォーピーズの床に示された歩幅はやや広め。「身体活動として有効な歩幅を、普段から確認することができる」と担当者は話す＝福島市

とで差が広がる。70歳まで働けるよう元気でいてほしい」と渡辺さんは語る。

「健康経営」を掲げ、働く世代の運動不足を解消しようとする企業が増えている。大和は「健康経営」を掲げ、働く世代の運動不足を解消しようとする企業が増えている。大和は「健康経営」を掲げ、働く世代の運動不足を解消しようとする企業が増えている。

オフィスにク

オフィス用品を扱
ピーズ(福島市)
所には、立って会議
ためのキャビネット
りながら自然と体の
使うバランスボール
れている。床には運
果的な、やや大腿の
示してある。スト
行つための壁もあ
動きながら自然
動を取り入れるた
々。フォーピーズ
っている商品を自社
員のために設置し
興味を持つ企業は
者が見学に来る。
専務の菅沼裕之さん
「『社員の健康のた
かやらなくては、
すれば良いのか』と
会社関係者は多い。
スを変えれば、社
康への意識が変わ
はなく、継続が大
を意識して働いて
り組みは、さまざま
指標が全国平均と
位にある福島では
がある」と話す。